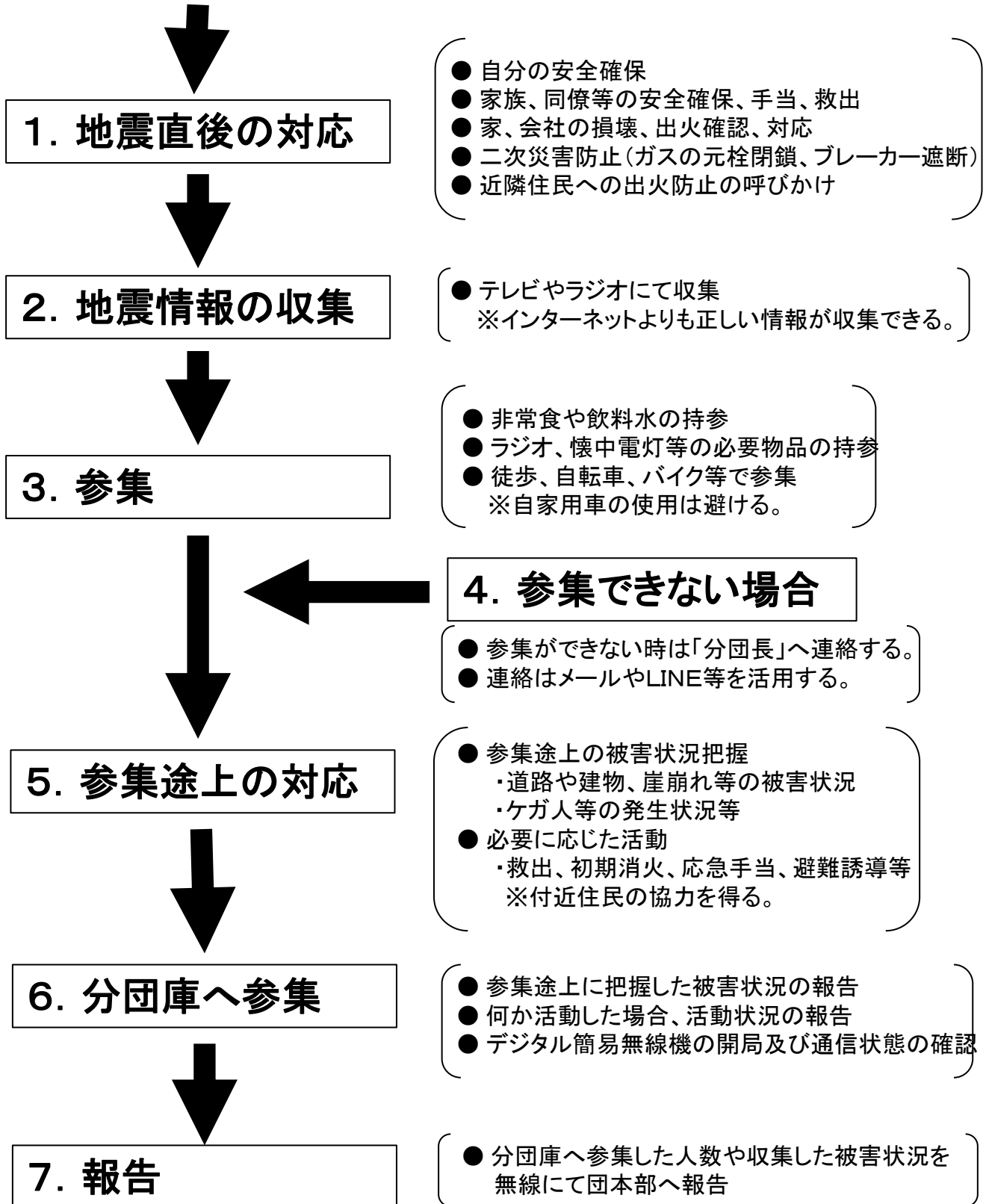


地震 初動対応フロー図

【地震発生(震度4以上)】



1. 配備基準

マスコミ報道、防災メール・まもるくん(福岡県)、愛情ねっと(大牟田市)等から、地震の震度、津波の注意報・警報等の発表状況等の情報に注目し、すぐに参集できるようにする。

区分	配備体制	配備基準
災害警戒本部	第2配備 ※全消防団員参集	<ul style="list-style-type: none">○ 大牟田市で震度4の地震が発生したとき。○ 津波注意報が発表されたとき。
災害対策本部	第4配備	<ul style="list-style-type: none">○ 大牟田市で震度5弱以上の地震が発生したとき。○ 津波警報が発表されたとき。○ その他警戒本部体制や水防本部体制では対応が困難で、総合的な対策が必要なときには、市長が判断し、決定する。

2. 参集

● 参集

- 消防団は震度4以上で、速やかに自主参集する。本人や家族が被災し参集できない場合は、分団長へその旨を連絡する。

● 参集場所

- 団本部及び分団本部にあつては消防本部、各分団にあつては所属の分団格納庫とする。

● 参集方法

- 原則として、徒歩、自転車、オートバイで参集する。ただし、状況に応じて自動車も利用できるが、被災地域への幹線道路が渋滞しないよう配慮する。
- 国道県道などの幹線道路を利用する。
- 道路の陥没、橋梁の落下、堤防の崩壊等、被災状況等に応じ、安全なルートを選択する。

● 参集状況・被害状況の報告

- 被害状況の見聞として、災害の発生状況、建物被害の状況、救助者の有無、道路の状況等、参集途上の被災状況を整理する。
- 各分団長は、参集した職員の人数、地域の被害状況を団本部に報告。団本部は情報を集約する。